

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 『学校で取り組むSDGs（現在進行形）』

【背景と目標】

- ・日々溢れる、ゴミを何とかしたい。
- ・段ボールを綺麗にたたんで廃棄の準備をしている用務員さんの丁寧な仕事に答えたい。
- ・自然環境の復活、いつまでも綺麗で持続可能な地球！

【協働・取組】

- ・ただ捨てていたゴミをできるだけリサイクルに回す。
リサイクル業者と売買契約の交渉
- ・ゴミ箱、リサイクル品の集積場所の確保。
町教育委員会へ集積場所（物置）設置の交渉、申請
- ・職員、生徒、PTA、地域へとの啓蒙を広げていく。
- ・学校祭等の行事を利用して、PTA等で活動できる人間を増やしていく。
- ・公的機関だけでなく、民間企業とも協力。
地元企業（スーパーマーケット）の環境貢献活動とタイアップ

【成果と課題】

- 成果
 - ・ただ捨てるだけのごみが激減！
 - ・「料金を払って捨てるゴミ」を「収入を生み出すゴミ」へ。
環境整備、教育活動の援助につながる。
 - ・コロナ禍で希薄になったPTA活動や地域との繋がりが再生するきっかけになる。
- 課題
 - ・リサイクル品が多くなるにつれ、新たな集積方法、集積場所を考える必要がある。
 - ・PTA、地域を巻き込んで、少しずつ大きな取り組みにしていける。

【教訓】 気候変動や環境問題は口には出さないにしても、皆が関心を持っている。今の子どもたちのため、未来の子どもたちのために、少しでも安心して生活できる地球を残したい。という思いを伝えると皆動いてくれる。

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5